

まち・ひと・しごと創生法 地方創生

令和6年度

地方創生応援税制
(企業版ふるさと納税)

取組事業

鈴 鹿 市

令和6年度における寄附活用対象事業
令和6年度実施事業

(1)	事業	『さあ、きつともっと鈴鹿。』で子育て「すずっこまんなかプロジェクト！」		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	子どもが輝き 人と文化を育むまち事業		
	事業費(円)	3,708,774	担当課	こども政策課
	寄附を活用した事業の内容	以下の事業に係る費用の一部に寄附を活用しました。 ・電子母子手帳システム導入 ・子育て世帯向け情報(情報誌・リーフレット)をデジタルブック化 ・ファミリーサポートセンターへのチャイルドシートの購入 ・子育て支援総合コーディネート事業『出前保育』等で使用する物品購入		
	寄附の効果	本事業の実施により、妊娠・出産・子育ての各段階における、情報発信力や支援体制の強化につながり、未来を担う子どもたちの健やかな成長を支えるための途切れない支援を推進することができました。		
	関連する指標の名称 (事業に紐づく 地域再生計画のKPI)	地域子育て支援拠点施設利用者数(年間) 保育所等を利用している子どもの割合 相談支援対応件数(年間)		
(2)	事業	多目的スポーツ施設設備整備事業		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	子どもが輝き 人と文化を育むまち事業		
	事業費(円)	49,061,100	担当課	スポーツ課
	寄附を活用した事業の内容	鼓ヶ浦サン・スポーツランド内の未利用地に、アーバンスポーツを中心とした多目的スポーツエリアを整備し、付帯施設として可動式スケートボード設備を導入し、その費用の一部に寄附を活用しました。		
	寄附の効果	本事業により、近年人気を博するスケートボードや、バスケットボール競技の中のスリー オン スリーなどの新たなスポーツのニーズに対応できるようになりました。開設から半年で約1,300名の利用者があり、今後更なる公園利用者の増加が期待できます。		
	関連する指標の名称 (事業に紐づく 地域再生計画のKPI)	使用料を有するスポーツ施設の利用者数(年間)		
(3)	事業	避難所等環境整備事業		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	生命と財産を守り抜ける 安全・安心のまち事業		
	事業費(円)	5,297,050	担当課	防災危機管理課
	寄附を活用した事業の内容	市内41か所の基幹収容避難所に、震度5以上の揺れを感知して自動解錠するキーボックスを設置し、その中に避難所の鍵を収納する取組を進めています。令和6年度は、その費用の一部に寄附を活用し、6か所の避難所に設置しました。		
	寄附の効果	本事業の実施により、大地震の際、夜間や休日など避難所となる施設が施錠されている時間帯においても、市職員の到着を待たずに市民が自主的に開錠、避難所を早期開設することができる施設が増え、避難者の安全・安心に繋がっています。		
	関連する指標の名称 (事業に紐づく 地域再生計画のKPI)	市公式LINE 災害情報登録(利用)者数(累計)		

(4)	事業	市内都市公園整備事業		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	自然と調和し 快適な都市環境を未来へつなぐまち事業		
	事業費(円)	7,381,000	担当課	市街地整備課
	寄附を活用した事業の内容	鈴鹿フラワーパーク内に、インクルーシブ遊具※を1機設置し、その費用の一部に寄附を活用しました。 ※障がいの有無や年齢などにかかわらず、誰もが遊べる遊具		
	寄附の効果	インクルーシブ遊具の公園への設置については、本市では初めてとなります。当該遊具の設置により、誰もが楽しむことができる公園利用につながりました。		
	関連する指標の名称 (事業に紐づく 地域再生計画のKPI)	公園施設利用率		
(5)	事業	鈴鹿deはたらこっ！プロジェクト		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	持続可能な産業の発展とにぎわいや 交流が生まれるまち事業		
	事業費(円)	9,171,504	担当課	産業政策課
	寄附を活用した事業の内容	令和6年度、地元企業、市内高等学校や高等教育機関、ハローワーク、鈴鹿商工会議所と市が連携し、「チーム鈴鹿」として、年間を通じた市内雇用促進施策の企画・立案・実施を行う「鈴鹿deはたらこっ！プロジェクト」を発足し、その運用にかかる費用の一部に寄附を活用しました。		
	寄附の効果	対象者別就職説明会、企業見学会、都市圏での就職フェア、企業向け講座など、年間を通じて各ターゲット層に向けた事業の実施により雇用に結びついたこと、さらには協議会における実施事業を踏まえた課題の洗い出しにより、次年度に向けた施策の方向性が定まるなど、本市雇用施策の一層の推進につながりました。		
	関連する指標の名称 (事業に紐づく 地域再生計画のKPI)	本市の雇用施策による市内企業への就職者数(累計) 働き方改革に率先して取り組む企業数(累計)		
(6)	事業	すずか未来デザイン応援LABO事業		
	事地域再生計画に掲げる事業の名称	みんなで支える 自分らしく生きるまち事業		
	事業費(円)	1,454,340	担当課	総合政策課
	寄附を活用した事業の内容	本市では、令和6年度から8年間を計画期間とする鈴鹿市総合計画2031において、将来都市像を「ひとがつながり DXで未来を拓く #最高に住みやすいまち鈴鹿」と定めています。この将来都市像を具体化していくための事業の1つとして、若者と本市の未来を描き、本市をより良いまちにするためのアイデアを共創するため、全国の高等専門学校の学生を対象とした「高専ハッカソン@鈴鹿」(1泊2日)を開催しました。		
	寄附の効果	事業の実施により、学生の視点から、本市が抱える課題について、デジタルでの解決手段を提案いただくことができ、本市が課題としている地方行政のデジタル化に関する検討を深めることにつながりました。		
	関連する指標の名称 (事業に紐づく 地域再生計画のKPI)	社会動態による人口動態(年度当たりの転入者数と転出者数の差)		

令和7年度以降実施予定事業

以下の事業は、「鈴鹿市企業版ふるさと納税基金」に積み立て等を行い、令和7年度以降の事業として寄附活用を予定しています。

(1)	事業	『さあ、きつともっと鈴鹿。』で子育て「すずっこまんなかプロジェクト！」 (基金積立て)
	寄附額(円)	4,100,000
(2)	事業	避難所等環境整備事業 (基金積立て)
	寄附額(円)	2,600,000
(3)	事業	東西医学を融合した新しい薬膳発信プロジェクト (基金積立て)
	寄附額(円)	9,300,000
(4)	事業	鈴鹿deはたらこっ！プロジェクト (基金積立て)
	寄附額(円)	12,000,000
(5)	事業	シティプロモーション事業 (繰越明許による)
	寄附額(円)	8,800,000